

# 第5回東大エネルギー・環境シンポジウム

主催：東京大学エネルギー・環境研究アライアンス

東京大学エネルギー工学連携研究センター(CEE)

東京大学先端エネルギー変換工学寄付研究部門(AECE)

共催：東京大学先端電力エネルギー・環境技術教育研究センター(APET)

東京大学エネルギー・資源フロンティアセンター(FRCER)

東京大学サステナブル材料国際研究センター(IRCSM)

## 岐路に立つ日本のエネルギー戦略

3.11の東日本大震災と福島第一原子力事故を経験して、日本のエネルギーのあり方が大きく変わろうとしています。原子力の安全性確保について多くの議論がなされ、地道な取り組みが求められる一方、輸入化石燃料費の高騰によって貿易収支も赤字に転落し、電力料金の値上げによる製造業の国際競争力喪失が懸念されています。また必要な化石燃料は確保できるのか、火力発電の効率向上はなされているのか、再生可能エネルギーは大きく伸ばすことができるのか、またこれらの理想的な組み合わせはいかにあるべきか、などが問われています。まさに今、日本のエネルギー戦略は岐路に立っていると言えます。そこで、日本の今後を決めるエネルギー戦略のあるべき姿を考えるシンポジウムを企画致しました。日本のエネルギー戦略の今後とその重要性について、専門家の方々にご講演戴きます。本問題に関心を持たれる皆様の御参加をお待ちしております。

日時：平成25年10月30日（水）

13:00～18:30

（受付開始 12:30）

会場：

東京大学伊藤国際学術研究センター

（東京大学本郷キャンパス、赤門横）

参加費：無料

講演資料集：3,000円

交通：

本郷三丁目駅（丸の内線）より徒歩8分

本郷三丁目駅（大江戸線）より徒歩6分

東大前駅（地下鉄南北線）より徒歩15分

### プログラム

13:00～13:10 開会のあいさつ

東京大学 理事・副学長 前田正史

#### 第1部

13:10～14:00 日本のエネルギー戦略のあるべき姿

（公財）地球環境産業技術研究機構 理事・研究所長

／東京大学 名誉教授 山地憲治

14:00～14:50 地球温暖化問題とエネルギー戦略

（一財）キャノングローバル戦略研究所 理事・研究主幹

／内閣官房参与 湯原哲夫

14:50～15:40 戦略的思考に基づく技術革新

東京大学生産技術研究所 特任教授 金子祥三

—(15:40～16:00)—

休憩

#### 第2部

16:00～16:50 電力事業における火力発電の役割

（一財）火力原子力発電技術協会 会長

／関西電力(株) 取締役常務執行役員・火力事業本部長 岩谷全啓

16:50～17:40 電気事業における発電技術の重要性と展望

東京電力(株) 取締役・代表執行役副社長 相澤善吾

17:40～18:20 米国シェール開発の現状について

米国住友商事(株) 上級副社長・資源エネルギーグループ長 村井俊朗

／Summit Discovery Resources, LCC Vice President 渡辺 考

18:20～18:30 閉会のあいさつ

[注]講演題目と内容に一部変更の可能性あることをご了承ください。

#### ■お申し込み

Web申込フォームよりご登録下さい。

<http://www.kaneko-lab.iis.u-tokyo.ac.jp>

#### ■定員

先着390名

（定員になり次第申込み締切）

※当日受付の予定はございません。

#### ■お問い合わせ

東京大学生産技術研究所

エネルギー工学連携研究センター

金子研究室

TEL: 03-5452-6850

FAX: 03-5452-6849

Email: aece@iis.u-tokyo.ac.jp

東京大学

エネルギー工学連携研究センター

Collaborative Research Center for Energy Engineering (CEE)

〒153-8505

東京都目黒区駒場4-6-1

東京大学生産技術研究所内

TEL 03-5452-6899

FAX 03-5452-6728

Email [cee@iis.u-tokyo.ac.jp](mailto:cee@iis.u-tokyo.ac.jp)

URL <http://www.energy.iis.u-tokyo.ac.jp/>

# CEE